

がん検診実態アンケート調査

－ 報告書 －

平成21年9月

山形県庄内保健所

(がん検診受診向上研究事業)

はじめに

近年、がんは生涯のうちに罹患する可能性が、男性が 2 人に 1 人、女性が 3 人に 1 人と推計されるなど、住民の生命や健康を脅かす重大な疾患です。

庄内地域において、がんは死亡原因の第一位であり、年間約 1,000 人もの方々ががんで亡くなられており、その死亡率は村山地域、置賜地域に比べ高い状況にあります。

がんは、健康に留意した生活習慣や食生活を実践することで、発症するリスクを減らすことが可能であるとともに、がん検診により早期に発見し治療を行うことで、その死亡率の減少が期待できます。

しかし、庄内地域における胃がんと大腸がんの検診受診率は、山形県平均と比較して低い状況にあり、がんによる死亡を減らすためには、がん検診の受診向上に向けた取組みが急務となっております。

このため、庄内地域では今年度「がん検診受診向上研究会」を設立し、このたび、「がん検診実態アンケート調査」を庄内地域の事業所における事業主や従業員を対象に実施いたしました。本調査結果によって、職域でのがん検診に関する実態を把握した上で、地域・職域における有効ながん検診の受診向上施策を策定し、推進を図っていくこととしております。

最後になりましたが、本調査に御理解、御協力を賜りました庄内地域の事業所における事業主、従業員の皆様、また、調査の実施にあたり御指導いただきました、「がん検診受診向上研究会」の委員の皆様、関係者の皆様に深く感謝とお礼を申し上げます。

平成 21 年 9 月

山形県庄内保健所

所長 松田 徹

目 次

第1章 調査方法	1
第1 調査の概要	2
第2 回収状況	3
第3 調査票	4
1 調査のお願い	4
2 調査票【事業主用】	5
3 調査票【従業員用】	9
第2章 調査結果（基本分析）	13
第1 事業主編	14
1 回答者の基本属性【問1～問8】	14
2 がん検診に関する実態・意識等【問9～問16】	18
3 自由記載回答（抜粋）	26
第2 従業員編	28
1 回答者の基本属性【問1～問8】	28
2 がん検診に関する実態・意識等【問9～問16】	32
3 自由記載回答（抜粋）	40
第3章 調査結果（クロス分析）	45
第1 事業主編	46
1 「事業所としての受診機会設定状況 × 性・年齢」【問8×問1】	46
2 「事業所としての受診機会設定状況 × 業種」【問8×問2】	47
3 「事業所としての受診機会設定状況 × 従業員数規模」【問8×問3】	48
4 「事業所としての受診機会設定状況 × 健康保険種別」【問8×問5】	49
5 「事業所としての受診機会設定状況 × 事業主自身の受診状況」【問8×問7】	50
6 「事業所としての検診費用負担 × 従業員数規模」【問11×問3】	51
7 「検診を実施しやすいのは（営業日・休業日） × 業種」【問14×問2】	52
8 「検診を実施しやすいのは（営業日・休業日） × 従業員数規模」【問14×問3】	53
第2 従業員編	54
1 「事業所における受診機会の有無 × 性・年齢」【問9×問1】	54
2 「事業所における受診機会の有無 × 身近でのがん罹患者の有無」【問9×問3】	55
3 「事業所における受診機会の有無 × 業種」【問9×問5】	56
4 「事業所における受診機会の有無 × 従業員数規模」【問9×問6】	57
5 「事業所における受診機会の有無 × 健康保険種別」【問9×問8】	58
6 「市町村がん検診の受診状況 × 性・年齢」【問10×問1】	59
7 「市町村がん検診の受診状況 × 身近でのがん罹患者の有無」【問10×問3】	60
8 「検診を実施しやすいのは（勤務日・休日） × 業種」【問15×問5】	61
9 「検診を実施しやすいのは（勤務日・休日） × 従業員数規模」【問15×問6】	62
第4章 考察	63
第1 基本分析からの考察	64
第2 クロス分析からの考察	66